

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-	
	やや良く なっている	観光名所（職 員） 住宅販売会社 （従業員）	来客数の動き 販売量の動き	・外国人の観光客が増えてきている。 ・家族構成の変化等での建て替え、リフォームの相談 が増えており、商談数・受注量とも3か月前と比べる と増えた。	
	変わらない	百貨店（営業担 当） スーパー（統括 担当） コンビニ（経営 者） コンビニ（エリ ア担当） 家電量販店（営 業担当） 乗用車販売店 （従業員） 乗用車販売店 （従業員） 一般レストラン （経営者） 観光型旅館（経 営者） 都市型ホテル （経営者） タクシー運転手 タクシー運転手 通信会社（管理 担当） 観光名所（経営 者） 設計事務所（所 長）	それ以外	それ以外	・来客数、売上高共に前年同月を上回った。ファッ ション商品関連商品、インテリア&リラクゼーション が前年割れとなり、食品が前年を確保した。秋物商品 の動きはない。
			販売量の動き	販売量の動き	・客1人当たりの買上点数は、変わらない。
			販売量の動き	販売量の動き	・天候の良い日が続き、売上は3か月前と変わらな い。
			販売量の動き	販売量の動き	・来客数は昨年並みである。客単価について7、8月 は、たばこの増税の影響で伸びなかったが、9月の伸 び率も昨年より3～4ポイント悪い。総合的に見て小 売・コンビニは良くない。
			販売量の動き	販売量の動き	・テレビやDVDビデオは動き出したが、調理家電、 パソコン等が伸び悩んでいる。
			販売量の動き	販売量の動き	・販売量の動きが変わらない。2007年に新型車3車種 が発表されたが昨年と変わらない。客からも景気が良 くなったという話はない。
			単価の動き	単価の動き	・前年比で販売量は伸びていない。
			来客数の動き	来客数の動き	・大型店等の出店に伴い、人の移動が郊外へと動いて いる。
			来客数の動き	来客数の動き	・全国的に国内旅行は良くない。国内旅行先として四 国に客が増えるという状況ではない。道後について も、まちづくりは進んでいるが、まだまだ客が増える という状況にはない。
			単価の動き	単価の動き	・単価は下げ止まった感がある。来客数は夏を境に増 える傾向にある。
			単価の動き	単価の動き	・単価が伸びず、利用回数も減少している。
			お客様の様子	お客様の様子	・前年比で、10%売上が低下している。給料やポー ナスが上がったという客の話はない。
			販売量の動き	販売量の動き	・販売数は横ばいである。3か月前との景気は大きく 変わらない。
			来客数の動き	来客数の動き	・観光客が少し増えてきている。
	お客様の様子	お客様の様子	・公共事業の設計をしているが、公共事業の予算取り が厳しくなっている。		
	やや悪く なっている	商店街（代表 者）	来客数の動き	・9月は大変暑いこともあって、秋物の立ち上がり が非常に悪かった。来街者数も減少している。	
		百貨店（営業担 当）	お客様の様子	・今月は天候の影響もあるが、秋物がほとんど動か なかった。以前、動いていた高額商品も動かず、景気 が低迷している。	
		スーパー（店 長）	単価の動き	・敬老の日の商品、秋分の日の花、十五夜の団子等、 いずれも単価の安いものにシフトしている。	
スーパー（企画 担当）		単価の動き	・原油高騰の影響が、小麦・油等の食品にも出てきて おり、今月から店頭価格も上がってきている。残暑が 続いており、衣料品の売上も低調であった。		
衣料品専門店 （経営者）		販売量の動き	・例年であれば9月の中旬以降、先取りをして婦人物 が良く動くが、今年は残暑が厳しく紳士物も含めて動 きが悪かった。		
衣料品専門店 （経営者）		来客数の動き	・オータムフェアを開催し、来店を促しているが残暑 が厳しく来客数が悪い。前年比で1割以上のマイナス で推移している。		
乗用車販売店 （管理担当）		販売量の動き	・例年9月は、売上げ増が見込まれる月であるが、今 年は下降している。		

		タクシー運転手	来客数の動き	・9月に入り、3連休が2回あり会社関係が休みで客数が少ない。夜飲みに出る人も少なく、また今秋は四国八十八箇所参りも少ないので売上が全体に伸びない。
		美容室（経営者）	単価の動き	・来客数は昨年並みではあるが、消費意欲が少なく客単価が低い。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・来店周期が長くなっている。
		設計事務所（職員）	競争相手の様子	・公共事業の縮減により受注競争の激しい状況が続いており、価格競争が下げ止まらない。競争相手（業者数）が増えてきており、業界全体が厳しい。廃業や人件費削減等のコスト圧縮を行っている会社も増えてきている。
	悪くなっている	一般小売店 〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・業務用向けの酒販店であるが、地方都市では販売量及び単価の低下に全く歯止めが掛からない。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・気温が例年よりも高く、秋物への購買意欲が低い。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	繊維工業（経営者）	販売量の動き	・小売段階での受注が活発になっている。
	変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新商品の販売は増加してきているが、主原料のパルプ、古紙を中心にすべての素材が値上げしており採算が取れない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・トラック需要の低迷から小型クレーンの需要は落ち込んでいるものの、大型クレーンは災害復興工事の影響等もあって稼働状況は良好であり、全体的には堅調に推移している。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・相変わらず受注が伸びず、採算が合わない工事が多い。
		公認会計士	取引先の様子	・客の今月の試算表、前年比の決算等を見ると前年比で3%売上も落ち、減収減益の状況が続いている。
	やや悪くなっている	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・顧客からの引き合いが少ない。下水・土木・工場関係のうち良いのは工場のみである。ユーザーの仕事量が少ないことも受注に影響している。
		輸送業（役員）	受注価格や販売価格の動き	・原油価格の高騰に加え、取引先からの合理化による取扱量の減少や運賃値下げ要請により売上が減少している。
	悪くなっている	木材木製品製造業（経営者）	競争相手の様子	・建築基準法の改正による認可の遅れと輸入材、国内の天然材の暴騰が悪化の要因である。
		建設業（総務担当）	競争相手の様子	・今月に入り、老舗の中堅土木業者が倒産した。原因は過当競争による赤字受注で、自転車操業が破綻したものである。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・新卒採用市場が中央の大手採用増を中心とした売手市場のため、四国では企業の採用難易度が高く、質的な充足を目指した第2新卒採用にこの時期から取り組む企業が増加しており、年末にかけて更に需要が見込める状態である。
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・新規案件の絶対数が減っている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・企業のマイナス思考が強く、広告もマス媒体よりもエリアを細分化した折り込みなどのミニ媒体になっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は3か月前に比較して、やや減少している。
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	採用者数の動き	・就職者数は8か月連続で昨年を下回っている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は、ここ3か月のうち2か月前年比マイナスとなっている。
		民間職業紹介機関（所長）	周辺企業の様子	・主に3月期決算の取引先企業で、決算が悪かった多くの企業が4月以降でテレビCM、新聞折込み等の広告費を減らしている。
	悪くなっている	-	-	-